

## 令和3年度における茨城県内の高齢者虐待の調査結果について

本日、厚生労働省が「高齢者の虐待防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する全国の調査結果を公表したことから、これと併せて、令和3年度の茨城県内の高齢者虐待の調査結果をとりまとめましたので公表します。

### 記

#### 1 養介護施設従事者等による高齢者虐待

##### (1) 相談・通報件数等

相談・通報件数は32件で、虐待の事実が認められた件数は11件であり、死亡事例はなかった。

##### (2) 虐待の内容（重複あり）

「介護等放棄」（ナースコール未設置等）が26人（63.4%）で最も多く、次いで「身体的虐待」が8人（19.5%）、「経済的虐待」が7人（17.0%）であった。

##### (3) 虐待を受けた高齢者の数

41人で、うち女性が31人（75.6%）を占めた。

##### (4) 虐待者（被虐待者に対する虐待者が特定されている職種）

介護職が最も多かった。

##### (5) 虐待事例の対応

市町村が施設等に対する調査を実施し、事実の確認、改善指導を行った。

#### 2 養護者による高齢者虐待

##### (1) 相談・通報件数等

市町村への相談・通報件数は662件で、虐待の事実が認められた件数は236件であり、死亡事例はなかった。

##### (2) 虐待の内容（重複あり）

「身体的虐待」が166人（68.0%）で最も多く、次いで「心理的虐待」が74人（30.3%）、「介護等放棄」が47人（19.3%）、「経済的虐待」が44人（18.0%）、「性的虐待」が2人（0.8%）であった。

##### (3) 虐待を受けた高齢者の数

244人で、うち女性が183人（75.0%）を占めた。

##### (4) 虐待者（重複あり）

息子が125人（47.9%）で最も多く、次いで夫が58人（22.2%）、娘が25人（9.6%）の順であった。

##### (5) 虐待事例の対応

虐待者から被虐待者の分離、介護保険サービスの利用、養護者への指導助言等により、高齢者及び養護者への支援を行った。

#### 3 県の取り組み

(1) 「茨城県高齢者権利擁護対策推進委員会」を設置し、関係機関の連携強化を図るとともに、高齢者虐待防止施策（高齢者虐待対応マニュアル・リーフレットの作成等）を推進している。

(2) 市町村職員、地域包括支援センターの職員、養介護施設従事者等を対象とした研修の実施や虐待事案に対応する市町村を支援するための相談窓口を設置している。

(3) 養介護施設等においては、改善指導を行っても施設運営や体制等に問題があると認められる場合は、介護保険法等に基づく指導・監査、行政指導を実施している。

### 令和3年度「高齢者虐待防止法に基づく対応状況等に関する調査（茨城県）」の結果

#### ■養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況

(単位:件)

##### 1 相談・通報件数

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
相談・通報件数	12	13	11	19	9	27	15	22	32	23	16	32
虐待判断事例	4	2	3	1	1	5	3	8	4	6	4	11

##### 2 相談・通報者(複数回答あり)

(単位:人)

本人による届出	家族・親族	当該施設職員	当該施設元職員	施設・事業所の管理者	医療機関従事者(医師含む)	介護支援専門員	介護相談員	地域包括支援センター職員	社会福祉協議会職員	国民健康保険団体連合会	都道府県から連絡	警察	その他	不明	合計
1 (2.9%)	7 (20.6%)	12 (35.3%)	4 (11.8%)	4 (11.8%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	34 (100.0%)

##### 3 相談・通報及び虐待の事実が認められた施設・事業者のサービス種別

(単位:件)

	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	認知症対応型共同生活介護	(在宅型)有料老人ホーム	(介護付き)有料老人ホーム	小規模多機能型居宅介護等	軽費老人ホーム	養護老人ホーム	短期入所施設	訪問介護等	通所介護等	居宅介護支援等	その他	合計
相談・通報	8 (25.0%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)	3 (9.4%)	5 (15.6%)	4 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	2 (6.3%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	32 (100.0%)
虐待	7 (63.6%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)

##### 4 虐待の事実が認められた事例

	被虐待者の状況				虐待に対して取った措置	養介護施設等の種別	虐待を行った従事者の職種
	性別	年齢階級	要介護度	虐待の種別			
1	女	90~94歳	要介護5	身体的虐待	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職等
2	女	90~94歳	要介護4	身体的虐待	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職
3	女	100歳	要介護3	身体的虐待 介護放棄 心理的虐待	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職
4	女	85~89歳	要介護4	身体的虐待	改善指導	介護老人保健施設	介護職
5	男3人 女2人	65~69歳 1人 70~74歳 2人 80~84歳 2人	要介護1 3人 要介護2 2人	経済的虐待 5人	改善指導	訪問介護事業所	介護職
6	男1人 女1人	90~94歳 1人 80~84歳 1人	要介護1 1人 要介護3 1人	経済的虐待 2人	改善指導	通所介護事業所	介護職
7	男	80~84歳	要介護4	身体的虐待	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職
8	女	90~94歳	要介護4	心理的虐待	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職
9	男2人 女10人	75~79歳 3人 80~84歳 2人 85~89歳 1人 90~94歳 3人 95~99歳 3人	要介護3 4人 要介護4 6人 不明 2人	身体的虐待 2人 介護放棄 10人	改善指導	特別養護老人ホーム	介護職等
10	男3人 女12人	70~74歳 1人 75~79歳 3人 80~84歳 2人 85~89歳 3人 90~94歳 4人 95~99歳 2人	要介護3 1人 要介護4 7人 要介護5 5人 不明 2人	介護放棄 15人	改善勧告	特別養護老人ホーム	介護職等
11	女	80~84歳	要介護5	身体的虐待	改善指導	(介護付き)有料老人ホーム	介護職

##### 5 参考

(1) 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）

(第25条)

都道府県知事は、毎年度、養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況、養介護施設従事者等による高齢者虐待があった場合にとった措置、その他厚生労働省令で定める事項を公表するものとする。

(2) 厚生労働省令で定める都道府県知事による公表事項

(第3条)

法第25条で定める事項は、次のとおりとする。

- 1 虐待があった養介護施設等の種別
- 2 虐待を行った養介護施設従事者等の職種

(3) 用語の解説

ア「養介護施設従事者等」とは

・「養介護施設」又は「養介護事業」の業務に従事する者

イ「養介護施設」とは

・老人福祉法に規定される老人福祉施設（地域密着型施設も含む）、有料老人ホーム

・介護保険法に規定される介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、地域包括支援センターなど

ウ「養介護事業」とは

・老人福祉法に規定される老人居宅生活支援事業

・介護保険法に規定される居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防サービス事業など

## ■養護者による高齢者虐待の状況

### 1 相談・通報対応件数

(単位:件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
相談・通報件数	423	404	424	406	416	423	482	490	597	584	669	662
虐待判断事例	297	250	262	238	225	229	261	274	304	299	275	236

### 2 相談・通報者(複数回答あり)

(単位:人)

	介護支援 専門員	介護事業 所職員	医療機関 従事者	近隣住 民・知人	民生委 員	被虐待 者本人	家族・ 親族	虐待者 自身	当該市町村 行政職員	警察	その他	不明	合計
R3年度	98 (13.3%)	16 (2.2%)	28 (3.8%)	21 (2.8%)	10 (1.4%)	80 (10.8%)	55 (7.5%)	13 (1.8%)	57 (7.7%)	311 (42.1%)	48 (6.5%)	1 (0.1%)	738

※1件の事例に対し、複数の者から相談・通報があった場合、それぞれの該当項目に重複して計上するため、合計人数は相談・通報件数と一致しない。また、医療機関従事者は24年度より計上項目となった。

### 3 虐待の種別・類型(複数回答あり)

(単位:件)

	身体的虐待	介護等の 放棄・放任	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計
R3年度	166 (68.0%)	47 (19.3%)	74 (30.3%)	2 (0.8%)	44 (18.0%)	333

※1件の事例に対し、複数の種別・類型がある場合、それぞれの該当項目に重複して計上されるため、合計件数は虐待判断事例件数と一致しない。

※構成割合は被虐待者(R3年度は244人)に対するもの。

### 4 被虐待高齢者の状況について

#### 1) 性別

(単位:人)

	男性	女性	不明	合計
R3年度	61 (25.0%)	183 (75.0%)	0 (0.0%)	244

※1件の事例に対し、被虐待高齢者が複数の場合があるため、虐待判断事例件数と一致しない。

#### 2) 年齢

(単位:人)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	不明	合計
R3年度	22 (9.0%)	39 (16.0%)	52 (21.3%)	61 (25.0%)	49 (20.1%)	21 (8.6%)	0 (0.0%)	244

#### 3) 介護保険の申請状況

(単位:人)

	未申請	申請中	認定済み	非該当(自立)	不明	合計
R3年度	107 (43.9%)	4 (1.6%)	128 (52.5%)	2 (0.8%)	3 (1.2%)	244

#### 4) 要介護認定者の要介護状態区分

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	不明	合計
R3年度	7 (5.5%)	3 (2.3%)	40 (31.3%)	29 (22.7%)	25 (19.5%)	16 (12.5%)	7 (5.5%)	1 (0.8%)	128

#### 5) 要介護認定者の認知症日常生活自立度

(単位:人)

	自立又は 認知症なし	自立度 I	自立度 II	自立度 III	自立度 IV	自立度 M	認知症はあるが 自立度不明	認知症の有無が 不明	合計	自立度II以上 (再掲)
R3年度	10 (7.8%)	22 (17.2%)	35 (27.3%)	34 (26.6%)	8 (6.3%)	5 (3.9%)	9 (7.0%)	5 (3.9%)	128	91 (71.1%)

### 5 虐待者(複数回答あり)

(単位:人)

	夫	妻	息子	娘	息子の配 偶者(嫁)	娘の配 偶者(婿)	兄弟姉妹	孫	その他	不明	合計
R3年度	58 (22.2%)	13 (5.0%)	125 (47.9%)	25 (9.6%)	11 (4.2%)	0 (0.0%)	4 (1.5%)	10 (3.8%)	14 (5.4%)	1 (0.4%)	261

※1件の事例に対し虐待者が複数の場合があるため、虐待判断事例件数とは一致しない。

※ 「養護者」とは、高齢者を現に養護する者であって養介護施設従事者等以外のものであり、高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等が該当する。